

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.99 (2024.6.27)

令和6年度スローガン
過去最高業績への挑戦
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

6/1日から9日まで、住宅建設経営研究会主催の欧州視察に参加して参りました。テーマは「ヨーロッパの環境政策と住宅」でデンマークとドイツのまちづくりについて詳しく視察して参りました。今月はデンマークについて紹介します。

デンマークは人口 600 万人に満たない北欧の小国ながら再生可能エネルギーが発電量に占める割合は 8 割以上と世界でも際立って高く、2030 年までにはこれを 100%にするとしています。年間の風力発電量はデンマークの発電量全体の半分近くを生み出しており、バイオマスが 2 割、石炭火力はわずか 1 割程度となっています。とりわけ風力発電では世界をリードする存在であり、洋上風力発電最大手のオーステッド社や、風力発電メーカー大手のベスタス社がデンマークにあります。両社をはじめデンマーク企業は世界のサステナブル企業ランキングでも上位の存在です。特にベスタス社はベスタス・ジャパンを設立、昨秋秋田県の誘致企業として秋田市・能代市沖の洋上風力発電の運転・保守業務を開始しております。

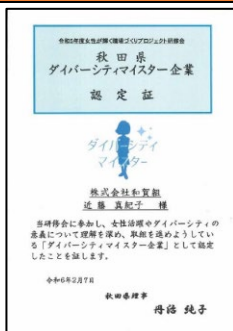


デンマークの首都コペンハーゲンには北欧最大の都市で、デンマーク語で「商人たちの港」を意味し、港町として発展してきた歴史があります。市内は近代的な建築物とレンガ造りの歴史的な建物が融合した美しい景観が広がり、「北欧のパリ」とも呼ばれています。前述の様に化石燃料に依存しない施策の一環として脱車社会をめざしており、歩道・車道に加え自転車専用道路が整備されて通勤通学に多くの市民が自転車を利用しています。また電車の内部にも自転車のスペースが広くとられており、自転車利用者の利便性に配慮されたまちづくりが印象的でした。

右の写真は 2019 年に完成した「コペンヒル」という高さ 70m の廃棄物発電所です。ここではゴミを燃やして熱を市内全域に供給しており、ここでの熱をお湯で供給して市内の 95%の熱需要を賄っているそうです。驚いたことに屋上の斜面がグラススキー場となっていました。

秋田県ダイバーシティマイスター企業

令和 6 年 2 月 7 日、秋田県ダイバーシティマイスター企業の認定を受けました。これは令和 5 年度女性が輝く職場づくりプロジェクトのマネジメント層向け研修会を 4 回受講し、自社の女性活躍の課題等を抽出し課題に向けた解決方法や取り組みを検討しながら、最終的に行動計画を作成するものです。当社からは近藤総務課長が参加、異業種の参加者の方々との意見等もあり、大変参考になったとの事でした。



株主総会



6/14 に 61 期の株主総会が開催され、決算と役員選任が承認されました。昨年永年にわたり当社の監査役を務めて頂いた近藤監査役が逝去され、鈴木監査役一名となっておりますが、この度の株主総会で A D K G r (株)ならびに A D K 富士システム(株)代表取締役の齋藤和美氏に新たに監査役就任頂きました。永未く当社の経営に対してご助言を賜ればと思います。

東北六県商工会議所連合会総会

6/21 仙台市で開催され日本商工会議所小林健会頭は「原材料高や円安などの影響で大企業を中心に賃上げの動きが広がっている」「生産性や競争力を高め適正な価格転嫁が重要で中小企業は地域経済のけん引役になることが期待される」「人口減少が進む東北では経済の活性化だけでなく、地方で暮らしながら生活する活動拠点を企業が整備するのの一つの方法だ」と述べられました。

⇒向かって左
日本商工会議所小林会頭、右
は仙台商工会議所藤崎会頭

